

第2表(小)

学校名 清瀬市立清瀬小学校

2 指導の重点

(1) 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

- あらゆる機会を捉えてタブレット端末等の ICT 機器を活用した学習を展開する。その際、学習ツールの一つとして他と比較・検討し、最大限の学習効果と効率を追求する。
- 問題解決学習を積極的に展開し、児童の思考を促す課題や発問等を工夫する。その上で子供たちが個別に考え活動する時間（運動時間含む）・話し合う時間を確保する。
- 児童が主体的に学習課題・方法等を考え選択して自力解決できるよう、「学習指導ガイドブック」を活用したり加配教員を中心に、習熟度別少人数指導を展開したりするなど、指導の個別化や学習の個性化を具現化できる学習環境を整備することで、個別最適な学びの展開を促す。
- 自力解決時の意見や疑問、感想などは、互いに交流する時間や協働して学ぶ時間を設定して話し合わせ、さらに個別に確認したり考えたりしたりする時間を設定して個別最適な学びと協働的な学びを往還させる。
- 板書等においては「ねらい」や「学習課題」等を明示し、何を学ぶのか・何のために学ぶのかを児童に把握させる。また板書とノート・ワークシートを関連させることにより、授業時間内や授業終了後に内容を振り返ることができるようにする。
- 全ての授業において「振り返り」の時間を確保し、指導者が本時の学習展開・内容を確認し直すとともに学習内容の理解状況を把握する。
- 学校図書館支援員等と連携を図り、活用しやすい学校図書館の環境を整備する。図書を活用した学習を展開し、全学年でコンクール等への参加を通して活用力向上を図る。
- 朝学習や国語科を中心とした並行読書等の機会を有効に活用して読書活動を推進する。

イ 道徳科

- 全内容項目において日常生活や自己の生き方等を振り返って考え議論する展開を図る。
- 特に内容項目「生命尊重」については、「いのちの学習」の一環として、総合的な学習の時間等で実施する「いのちプロジェクト」と関連付けて実施し、重点化を図る。

ウ 外国語活動

- 外部講師等を活用しながら言語や文化について体験的に理解を深めさせ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

エ 総合的な学習の時間

- 「いのちの学習」を通して自尊感情や自己肯定感、自己有用感を育て、他を大切にす心情を育てるとともに自己の生き方について考えさせるキャリア教育を推進する。
- 地域理解に関する活動や地域貢献に関する活動など、地域と連携した学習を通して地域を愛する心情や地域に貢献する心情を育てる。

オ 特別活動

- 話し合い活動では、計画・話し合い・実践・振り返りを一連のサイクルとして捉えさせることにより話し合いの重要性を感得させ、主体的に社会に参画する意識を醸成する。
- めあてをもたせた異学年交流等を積極的に行い、児童の社会性や協調性を育てる。